

南極クルーズ よくあるご質問

Q. 寒くありませんか？

A. 天候に左右されますが、12月から2月にかけては平均5°Cから-5°Cです。

Q. 服装が心配です。

A. ポナン・クルーズはパルカ(防寒用の厚手の上着)をご乗船後に配布致します(無料)。その下に着る服装としては乾きやすい長袖シャツ(ヒートテック等)にフリースの長袖セーターの重ね着をお勧めします。汗をかく場合もありますので体温調節をこまめにしましょう。ズボンは保温効果の高いジャージやトレーナー素材のズボン(女性は保温性の高いタイツやスパッツ)に、登山で履くようなズボン、更に防水加工と保温性優れたアウトーズボンです。登山等と同じ様な服装をお持ちでしたら特別に購入する必要はありません。足元は厚手の靴下にゴム長靴を履きます。ゴム長靴は無料レンタルをご用意しています。

Q. ドレーク海峡は揺れませんか？

A. ドレーク海峡が揺れるというのは有名な話ですが毎回揺れる訳ではなく、また毎日揺れる訳ではありません。ポナン・クルーズの各船は南極クルーズに最適な最新設備(フィンスタビライザー)を備えていますので、横揺れには非常に強く2013年2月の例でも、お食事中テーブルから食器が落ちたり、部屋の物が揺れて散乱した例はありません。予防としては、船酔い止めの薬の早目の服用をお勧め致します。船酔い止めの薬はレセプションでも無料をご用意しております。船医も常駐していますのでいつでも診察を受けられますのでご安心ください。酔い止めパッチや注射は即効性があります。南極海域に入ると海は非常に穏やかで揺れはほとんど気になりません。

Q. 南極ではどんな物が見られますか？

A. ペンギンは18種類中の7種類が生息しています。特にアデリーペンギン、ゼンツーペンギン、アゴヒゲペンギンは多くの場所で間近にご覧になれます。クジラやアザラシも見ることが出来ます。

Q. オーロラは見えますか？

A. 南極にもオーロラは出ていますが、白夜に近いのでこの時期はご覧頂けません。

Q. アルゼンチンまで行かないと南極には行かれないでしょうか？

A. アルゼンチンのウシュアイアから南極半島までの距離は1,000kmです。オーストラリアから南極までは2,000km、南アフリカからは4,000km離れていますので所要時間としてはウシュアイアが一番近い出発地ということになります。また南極半島はプランクトンも豊富でクジラやペンギン、その他の動物にとって暮らすのに適した場所の為多くの動物、哺乳類、鳥類をご覧いただけるチャンスが多いです。

Q. 南極に関するレクチャーはありますか？

A. はい。ございます。詳細は船内新聞にてご確認ください。レクチャーは英語とフランス語で行われます。

Q. 南極に入るにはビザはありますか？他に書類は必要ですか？

A. 南極に入る為のビザは必要ありません。出港地ウシュアイアまでの経由国については各大使館へビザの有無をご確認ください。南極クルーズにご乗船いただくお客様には健康診断書と環境省への届出が必要になります。書類は日本語をご用意していますのでご安心ください。

Q. ポナン・クルーズと他の船との違いを教えてください。

A.

ポイント 1【新造船の探検船】

最新鋭の探検船です。2010 年建造のル・ボリアル号、2011 年建造ロストラル号、2013 年建造ル・ソリアル号、2015 年建造のル・リリアル号の 4 隻を配船しています。95%はバルコニー付で 22 m²の広さを誇ります。バルコニー付の南極探検船は非常に少なく、バルコニーからクジラやペンギンを間近に見る事が出来るのはポナン・クルーズならではの流氷や各国の基地も部屋からご覧になれますので、カメラやビデオ撮影にも最適です。

ポイント 2【操舵室(ブリッジ)の開放】

通常操舵室(ブリッジ)は安全上の理由で入れませんがポナン・クルーズでは船が南極海域に入ると操舵室を開放します。そこではキャプテンを始め南極に精通したスタッフが皆様に説明をしてくれ、キャプテンやスタッフとの交流出来るまたとないチャンスとなります。また操舵室は海を眺めるのに最も適した場所である事は言うまでもありません。

ポイント 3【機動力】

機動力があります。南極に上陸する場合は南極条約のルールを守らなければいけません。上陸の場合は 1 回 100 名までと制限されています。ポナン・クルーズは 260 名様定員ですが南極クルーズは 200 名様に限定し、一ヶ所は 2 回転(100 名様 x2 回転)で収まるようにしています。その為 1 日に 2 ヶ所の上陸やクルージングを実現出来るのです。

ポイント 4【自然に優しい最新の装備】

南極探検に適した自然に優しいエコシップであり最新の装備を備えています。ダイナミック・ポジション(錨を降ろさないで位置を固定出来るエンジン)、海に排水しないエコシップです。

ポイント 5【フランス船籍のスマール・ラグジュアリー船】

フランス船籍のスマール・ラグジュアリー船です。船内の設備はグレードが高く、居住性の高いデザインになっています。食事は一回制の自由席。ランチやディナーでのアルコール(ワインやビール)はクルーズ代金に含まれています。メインレストラン、ビュッフェレストランではフランス料理やイタリア料理等各国のお料理をお楽しみいただけます。南極に居ながらにして素晴らしいお食事をお召し上がり頂けます。朝はお粥などもご用意いたします。

南極クルーズワンポイントアドバイス

●海外旅行保険

IAATO(国際南極ツアー・オペレータ協会)は南極クルーズ乗船の皆様に海外旅行保険への加入を義務付けています。

●写真

一般的なデジタルカメラでも撮影は可能ですが本格的な撮影をされる場合は12倍ズーム、70~300ミリと35ミリの標準レンズがお勧めです。ペンギンや動物達の撮影には望遠レンズは必須です。

●双眼鏡

遠くの動物達をご覧になる時は双眼鏡があると便利です。7倍から8倍の物がお勧めです。

●予備

バッテリーは低温に弱い為予備のバッテリーを持参することをお勧めします。低温によるバッテリー消費対策には使い捨てカイロも有効です。撮り過ぎの時の為に予備のメモリーカードを用意するのもよいでしょう。

船内ワンポイント

●船内言語はフランス語と英語です。共に共通言語として使われています。

●電圧は100Vです。日本の電気機器もそのままご使用頂けます。

●船内ではどこでもWIFI(有料)をご利用頂けます。
